

## ■印刷方式・印刷範囲・色の表現性について（金・銀・蛍光等の特色を除く）

オリジナル印刷紙コップ・フードカップの印刷方式は『UVオフセット印刷』で行われますので、仕上りに関しましては、ポスターレベルの印刷表現が可能です。表現豊かなオフセット印刷は、写真画像や繊細なグラデーションをはじめ、JAN・QRコード等細かいデザインにも対応し、高級感のある仕上りとなります。

(1) 特色をご希望の場合(色の掛け合わせが無い場合)

DIC・PANTONEなどのカラーチップNO,のご指定が可能です。

また、ご希望カラーが既成印刷物(名刺・封筒・会社案内など)にある場合はそちらを色見本として、仕上りに合わせる事も可能です。



(2) 写真印刷・プロセス4色の場合(色の掛け合わせが有る場合)

仕上り見本に合わせる形での印刷が可能です。

こんな感じで!!



(3) 印刷範囲

紙皿は端から端まで全面に印刷が可能です。

※紙ボウルは縁部分2mm程度印刷不可となります。



## ■使用原紙について

紙皿や紙ボウル等の食品容器に使用する原紙は、食品衛生法により「素材を白くする為の薬剤」である蛍光染料の使用を禁止されています。

その為、一般的なコピー紙やアート紙に比べ、紙の白色度が無く、若干生成りの様な地色になります。

ご希望色によりましては、コピー等で出力された物に比べ、若干暗め(濃いめ)に転がる場合がございます。

## ■校正印刷について：案件進行時に校正印刷が必要な場合は、本機校正となります。

本機校正：実際に本番で印刷を行う本機を使用し、仕上り見本を印刷します。色合いに厳しい場合に関しましては、本機校正をお願いしております。

※校正提出は、平な状態で表面加工(樹脂・PP等)がされていません。

また、本製品製造の場合、印刷後に表面加工を行いますと、若干ながら色に深みが増す方向になります。(本製品のイメージでは、校正品にセロテープを貼った感じの色合いになります)

## ■表面樹脂加工について

印刷後、紙皿の表面に透明のツヤが出る食品対応樹脂を塗ります。(紙ボウルの場合は、表面にPPフィルムが貼合されます)

この表面樹脂加工により、紙皿が簡易食器としての食品衛生法をクリアし、紙皿自体に耐水・耐油の機能が付加されます。

※食品容器以外の用途の場合におきましても、プレス金型へのインク写りを防ぐ為に必要な加工となります。

## ■成型仕上りについて

紙皿・紙ボウルは、平らな紙に熱を掛けた金型でアイロンプレスさせて成型します。その為、紙皿の縁にはギザギザ部分やランダムに入る寄りシワが発生する為、細かい文字やJAN・QRコード等の入るデザインの場合、カスレや紙の重なりにより、データ情報が読み取り難くなる場合がございます。

(紙ボウルの場合は、容器側面に筋線が入ります)

ご必要の場合は、サンプルをご確認ください。(サンプルは送料着払いとなります)